



【当初予算】
資料 1

令和2年度 当初予算案のポイント

50周年を契機とした 住みやすさと活力の進化

滋賀県守山市



環境 施設

令和3年10月の供用開始に向け、周辺環境に十分配慮する中、安全かつ計画的に事業を進めます（最重点施策）。

子育て 教育

子どもたちが健康ですくすくと育つ環境の向上と、さらなる**子育て支援の充実**を図ります。

福祉 施策

全ての市民が住み慣れた地域で住み続けられるよう、**福祉施策の充実**を進めます。

活性化

市制施行50周年を迎える中で、市全域が活性化される取り組みを進め、**持続可能なまちづくり**を推進します。



当初予算案の規模

(単位：千円)

		令和2年度	令和元年度	増減額	対前年度 比率
予算総額		54,674,963	47,255,899	7,419,064	15.7%
内 訳	一般会計	34,180,000	27,060,000	7,120,000	26.3%
	うち通常事業	26,280,383	25,843,384	436,999	1.7%
	うち大規模事業	7,899,617	1,216,616	6,683,001	549.3%
	特別会計	13,500,800	13,261,700	239,100	1.8%
	公営企業会計	6,994,163	6,934,199	59,964	0.9%

※公営企業は、収益的収支と資本的収支の合計です。

■大規模事業 78.9億円 (+66.8億円、+549.3%)

※環境施設整備 (60.0億円)、守山南中学校大規模改造 (給食・第2体育館新築含む) (18.5億円) など

大規模事業を予算計上しているものの、財政規律を遵守するなか、財政見通しで想定した範囲内とし、将来を見据えた予算編成としています。

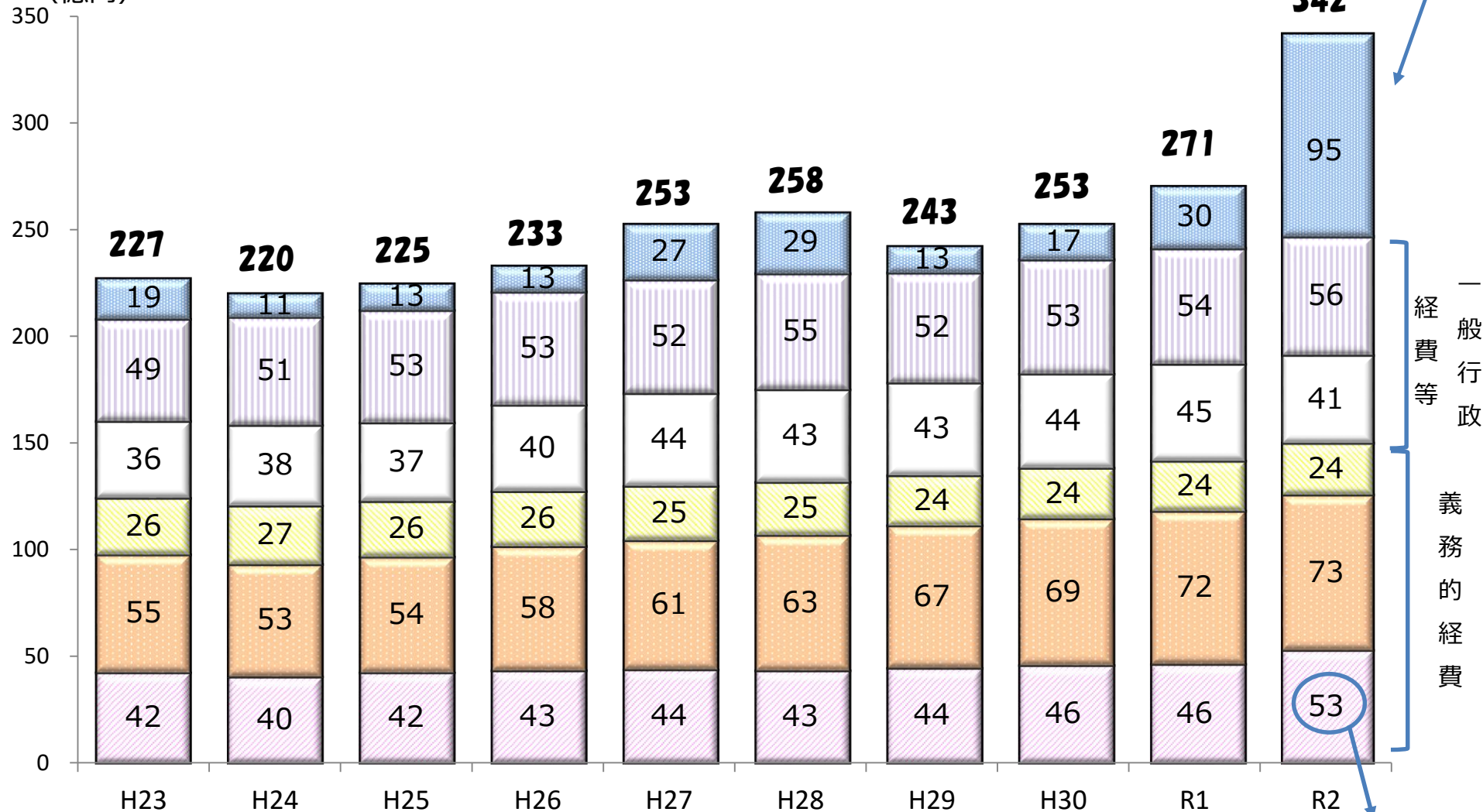


当初予算額の推移

人件費
 扶助費
 公債費
 物件費
 その他
 普通建設事業費

投資的経費

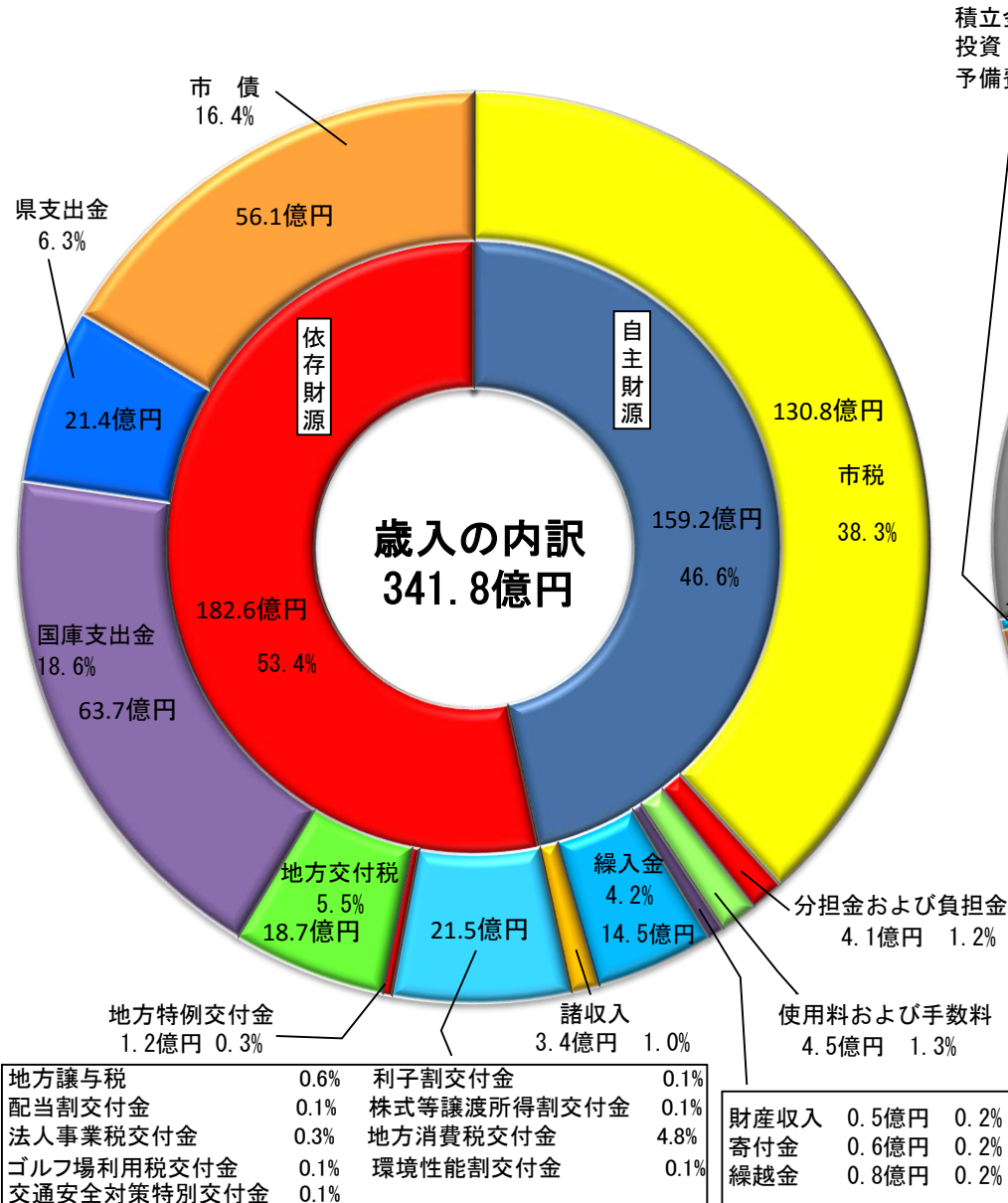
(億円)



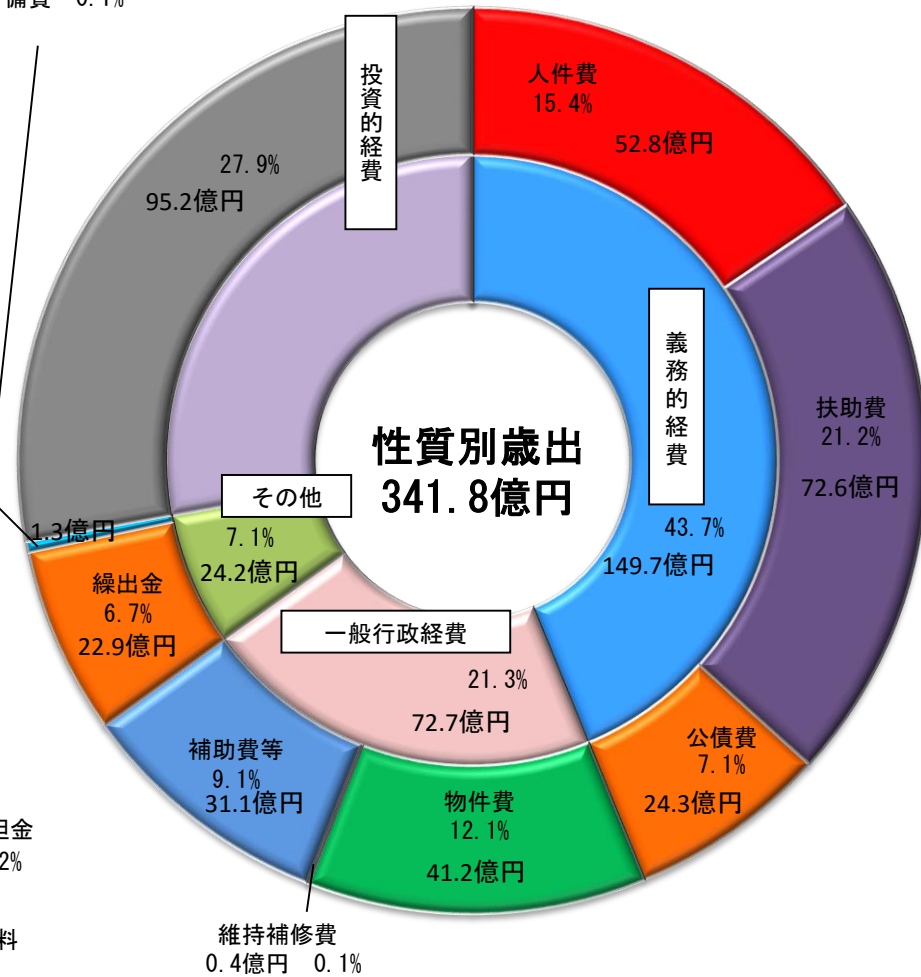
※会計年度任用職員制度への移行による増
(物件費(賃金等)から人件費へ移行)



歳入歳出の内訳（一般会計）



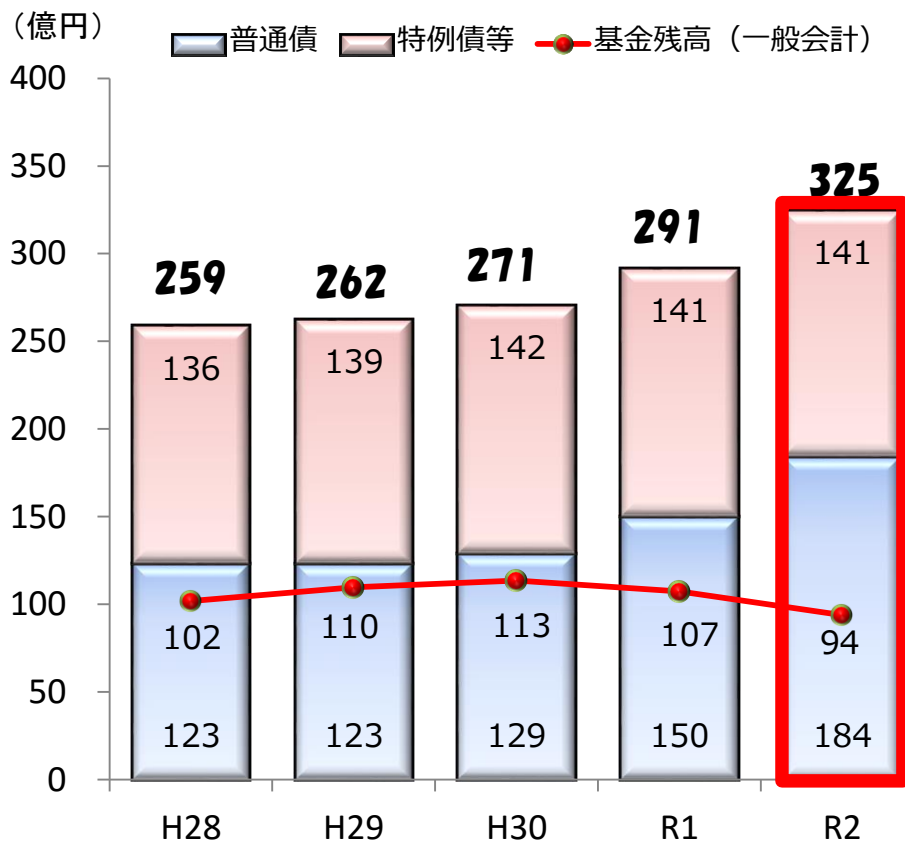
積立金 0.2%
 投資・出資・貸付金 0.1%
 予備費 0.1%



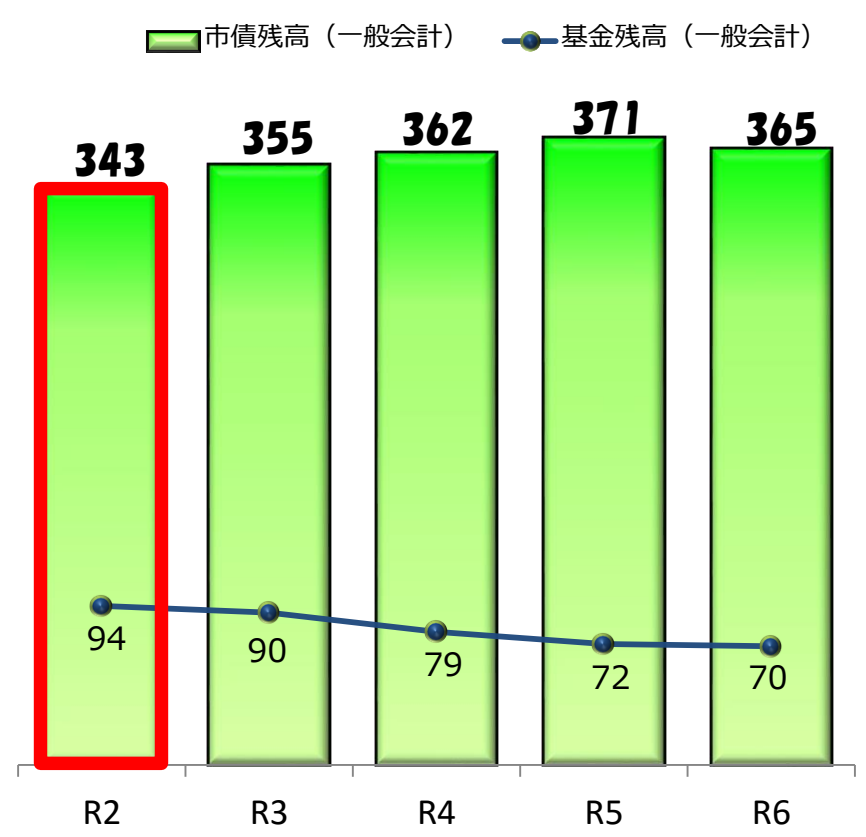


市債および基金残高の推移（一般会計）

- 市債残高は、新庁舎整備事業など今後の大規模な建設事業により増加が見込まれます。
- 基金は大規模な建設事業などに対して、計画的に活用していきます。令和2年度は、主に環境施設更新事業に活用するため残高は減少の見込みです。
- ◎ 令和2年度は、市債残高および基金残高ともに財政見通しの範囲内となっています。



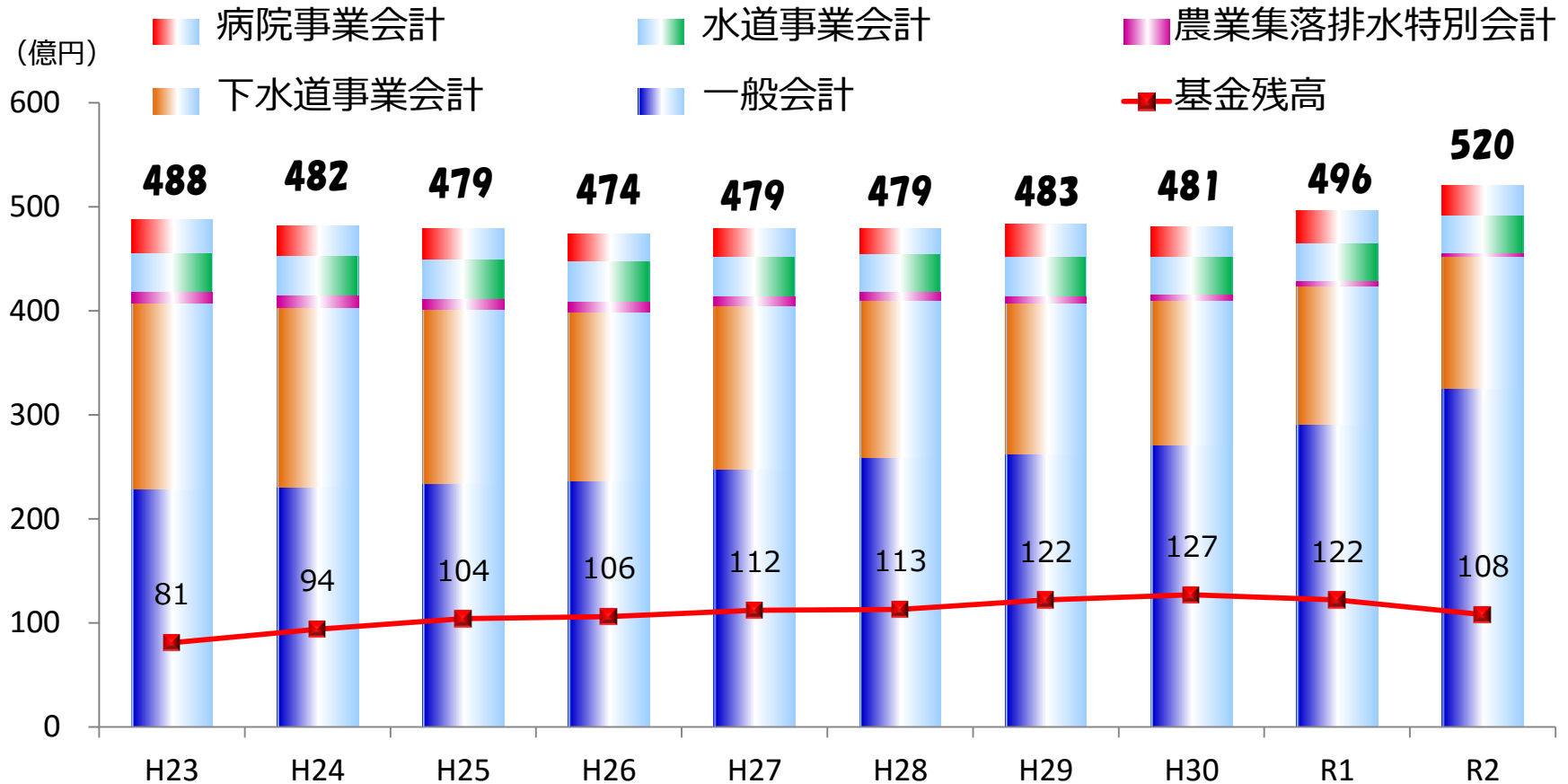
＜参考＞財政見通しでの推移（R1改定版）



※H30年度は決算額。R1年度は決算見込額。
R2年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。

市債および基金残高の推移（全会計）

○ 市債の残高は、水道・農業集落排水・下水道は過去に発行した市債の償還終了が多数あるため減少傾向が続いています。一般会計は増加傾向であり、病院は退職手当債および建設事業債の発行により一時的に増加しています。



※H23年度からH30年度までは決算額。R1年度は決算見込額。R2年度は当初予算に基づく年度末現在高見込額。

最重点施策 環境施設更新事業の推進

令和3年10月の稼働に向け、施設整備工事を着実に進めるとともに、新たな分別区分等の周知に取り組みます。

市制施行50周年記念事業

市制施行50周年を迎えるにあたり、先人の功績に市民全体で感謝するとともに次の50年を見据えたまちづくりにつなげます。

👉 次の4つの重点施策の柱に基づく施策を展開し、人づくりとまちづくりを推進します。

柱① 安心な子育て環境・次世代育成の推進

子どもの通院費医療費助成の拡充など子育て支援の充実を進める中、保健・福祉・教育が横断的に連携した施策に取り組むとともに、こどもたちの育ちを支える学校の環境整備や学力向上などの充実を図ります。

柱② 高齢者・障害者等が安心して生活できる環境づくり


全ての市民が住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう、介護・障害福祉施設の職員不足の解消を図るなど福祉施策の充実を進めるとともに、地域共生社会の実現を目指した体制づくりを推進します。

柱③ 活力ある持続可能なまちづくり

東京オリンピック・パラリンピック関連事業の実施など、市全域が活性化する取り組みを進めるとともに、より良い環境を次世代に引き継ぐため、市民と行政でともにまちづくりを進める体制を推進します。

柱④ 安全・安心なまちづくりと信頼される市政運営

防犯カメラ設置に対する支援など危機管理体制を強化し、自助・共助・公助の連携による災害に強いまちづくりを進めるとともに、新庁舎整備事業など公共施設の老朽化対策を進め、市民から信頼される市政運営を行っていきます。



また、たくましい次世代を育成し、守山の誇る「市民力」「地域力」の更なる発展に向けた事業を推進し、こどもから高齢者まで地域でともに生きるまちづくりを進めるため、人づくり構想の策定に取り組みます。

環境施設更新事業の推進

予算 6,005,347千円
 (国:1,840,144千円、債:3,209,800千円、基:951,000千円)

環境施設更新事業の推進

(6,001,159千円)

本市の最重要課題として推進しており、令和元年度には、地盤改良工事、ケーシング打設工事、杭工事を実施しました。令和2年度には建築工事および焼却炉の設置をはじめとするプラント工事を行い、令和3年10月の供用開始に向け、工事を進めます。



環境施設対策課 担当 羽場 連絡先 077-585-2828

新たなごみ分別区分およびごみ減量化策の周知・啓発

(4,188千円)

新環境施設の供用開始に伴い、ごみの分別区分を変更することから、自治会や事業所に対し変更内容をしっかりと説明し、ご理解いただくため、新分別PR用パンフレットやDVDを作成します。

また、ごみの分別区分のみならず、ごみ出しカレンダーやごみ減量化策等の情報発信機能を付加したごみ分別アプリを導入します。

さらには、雑がみの資源化を更に推進するため、雑がみ保管袋を作成し、全戸配布します。

ごみ減量推進課 担当 佐藤 連絡先 077-582-1121

環境学習都市宣言記念公園整備事業

3月補正

予算 356,834千円

(国:105,000千円、債:215,600千円、基:36,000千円)

環境学習都市宣言記念公園整備事業

公園内の中央通路や駐車場等の屋外施設を整備する。

【事業概要】中央園路、駐車場、既存施設解体

【事業費】235,774千円

交流拠点施設駐車場等整備事業

令和3年4月のオープンを目指し現在建設中の交流拠点施設の駐車場や外構の整備を行います。

【事業概要】駐車場、外構工事

【事業費】121,060千円



都市計画課 担当 藤井、今井 連絡先 077-582-1132

施設整備室 担当 松井、川前 連絡先 077-584-5926

市制施行50周年記念事業

予算 38,227千円

記念事業関係（企画政策課 21,877千円） 記念式典関係（総務課 2,500千円）

- 総おどり（「守山音頭」の復活！）【9月12日(土)・市民運動公園】
- 市制施行50周年記念式典（午前：式典、午後：講演）【11月7日(土)・市民ホール大ホール】
※環境フォーラム同時開催
- びわ湖吹奏楽フェスティバル（祝賀パレードや祝賀コンサート）【11月8日(日)・市民ホール大ホール】
- 中高生サミット、本市出身のお笑いコンビ「野性爆弾」のくっきー！さん等によるポスター他



市制施行50周年ふるさと交流・活性化交付金（企画政策課 7,000千円）

- 各学区が市制施行50周年を記念し、実施する事業等に対して交付金を交付（上限1,000千円）

記念誌関係（公文書館 1,850千円）

- 市制施行50周年記念誌の発刊（2,000部発行、構成：第1部 年次別、第2部 守山市民憲章のテーマ別）

姉妹都市交流（市民協働課 5,000千円）

- 首長・功労者の式典出席および表彰、合同交流会（米国カウアイ郡、米国エイドリアン市、韓国公州市）

企画政策課・総務課・市民協働課・公文書館・環境政策課 担当 中島（企画）連絡先077-582-1121

子ども通院医療費助成事業

予算 25,868千円

子育て支援の更なる拡充に向け、令和2年10月から

小学校1年生から3年生までの子どもの医療費助成を拡大します。

入院

H25.10より
全額助成

従来より
全額助成

中3

∩

小4

∩

小3

∩

小2

∩

小1

6才

∩

0才

通院

新

R2.10月より
助成拡充

従来より
全額助成

令和2年10月受診分から、**小学校1年生から3年生までのお子さんの通院に係る医療費を助成**します！

※自己負担として、1医療機関あたり月額500円までとなります。（調剤は自己負担なし）



待機児童対策の推進

予算 46,564千円
 (国:7,846千円、県:7,536千円、他:253千円)

待機児童の解消に向けて受け皿の拡充や保育人材の確保などを進めていきます

◆ 保育人材育成施設の開設

2,800千円

(仮称)すみれ保育園に併設される施設において、保育人材(潜在保育士・子育て支援員などを含む)の育成やリカレント教育などに取り組み、保育人材の確保と資質の向上を図ります。

【予定してる研修】

- ・ 現任保育士等専門研修
- ・ 潜在保育士研修
- ・ 子育て支援員養成研修
- ・ 家庭的保育者基礎研修 など



◆ <参考> すみれ保育園の開園

保育の受け皿拡充と保育士等の資質向上を図るため、令和2年4月に人材育成機能を併せ持つ保育園を開園します。

【施設概要】

- ・ 運営者(学)純美禮学園
- ・ 所在地 三宅町134番5他
- ・ 敷地面積 約3,000㎡
- ・ 定員 120名

園舎イメージ図



◆ <参考> 無償化に伴う一般財源負担額 約2.5億円

◆ 幼稚園預かり保育の拡充

26,501千円

保育ニーズの受け皿の拡充や子育て支援の更なる充実を図るため、各園の申込状況を踏まえて現行定員(各園30名)からの拡大を進めます。

【実施園】

- ・ 守山幼稚園
- ・ 吉身幼稚園
- ・ 立入が丘幼稚園
- ・ 速野幼稚園



◆ 保育士の確保と定着化の促進

17,263千円

保育士の確保と定着化を進めるため、既存事業を継続していくとともに民間園を対象とした新たな補助金を創設します。

<新規>(民)保育士等確保対策補助事業 5,000千円

<新規>(民)ICT化推進補助事業 1,500千円

(民)新規採用保育士臨時給付金 3,000千円

(民)保育周辺業務補助事業 4,800千円

(公・民)保育人材バンク事業 2,963千円

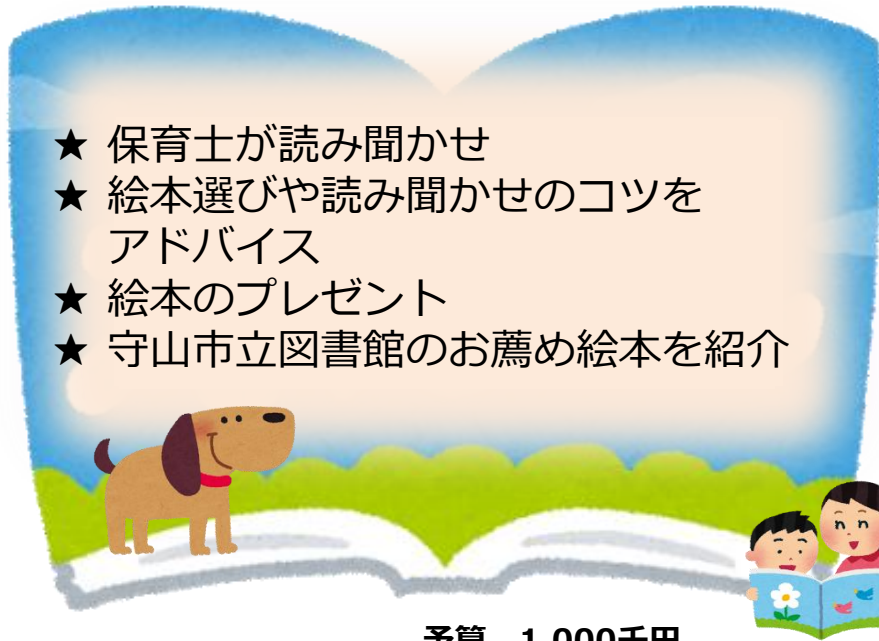
こどもの育ち連携推進事業

予算 2,077千円

絵本の読み聞かせ ～絵本のプレゼント～

10か月児健診で、こどもの発達の促しと、本への親しみをもってもらうため、絵本の読み聞かせを行います。

- ★ 保育士が読み聞かせ
- ★ 絵本選びや読み聞かせのコツをアドバイス
- ★ 絵本のプレゼント
- ★ 守山市立図書館のお薦め絵本を紹介



予算 1,000千円

すこやか生活課 担当 中井 連絡先077-581-0201

児童虐待防止講演会



児童虐待防止、体罰によらない子育てについて広く市民の皆様にご覧いただき、児童虐待を未然に防止することを目的に講演会を開催します。

予算 277千円

こども家庭相談課 担当 田中 連絡先 077-582-1159

おやこ体操教室

親子と一緒に体を動かし、遊びを通してふれあいを楽しむ大切さを学び、体験できる場として、体操教室を開催します。



対象：乳幼児とその保護者

予算 800千円

こどもの育ち連携推進室 担当 大木 連絡先 077-581-0201

教育支援体制の充実

予算 101,119千円
(国:1,833千円、県:3,930千円)

①【新規】中学校部活動指導員を配置します(1,233千円)

部活動に係る専門的な知識・技能を有する指導員を配置し、部活動の質的な向上を図ります。また、教員の部活動指導にかかる時間を軽減し、教材研究や生徒との面談等の時間を確保します。

中学校2校に2人(R2 新規)



②【拡充】スクール・サポート・スタッフを小学校に配置します(2,108千円)

教員の業務支援を図り、教員が一層児童・生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整えます。



R1年度：2人→R2年度：3人

③【拡充】学校図書館司書を市立小・中学校へ配置します(2,136千円)

児童・生徒の読書環境の充実をはかるため、市立小・中学校へ学校司書を配置します。
(巡回による勤務予定、図書館より配置)

中学校4校に1人
小学校9校に3人(3校に1人)

*R1現在、中学校4校に1人配置



④【継続】加配教員や支援員等を配置し学校運営体制の充実を図り、子どもたちに寄り添った教育を進めます。(95,642千円)

やすらぎ支援員4人、生徒指導加配教員4人、大規模校加配教員7人、スクールソーシャルワーカー4人、スクールカウンセラー1人、小学校少人数学級対応教員7人、指導アドバイザー3人(+1人)、いきいき支援員28人(+1人)、地域で学ぶ支援員1人、医療的ケア支援スタッフ[看護師]3人(+1人)、外国語日本語指導員4人、SSWSV1人、学校問題緊急対応チーム、スクールアドバイザー5人

①②④学校教育課 担当 宮下 連絡先 077-582-1141

③ 図書館 担当 佐藤 連絡先 077-583-1639

教育環境の改善

3月補正を含む

予算 2, 164, 578千円

(国:571,114千円、債:1,155,000千円、基:357,000千円)

① 守山南中学校大規模改造事業 (2,152,546千円) 3月補正を含む

老朽化している施設の改善と、不足している普通教室等を確保するため、増改築工事を行います。また、給食・第2体育館の整備を行い、教育環境の充実を図ります。

整備概要

	階数	構造	延床面積 (予定)
特別教室棟 (新築)	3階	RC造	3,800m ²
給食・第2体育館 (新築)	2階	RC造	1,850m ²
部室棟 (新築)	1階	S造	490m ²



② 中学校給食施設整備事業 (12,032千円)

「食」の大切さを育む、「おいしい、温かい学校給食」の提供を行うため、給食施設を整備します。令和2年度は実施設計を実施します。

対象校	守山中学校、守山北中学校、明富中学校
整備計画	R2 実施設計業務 R3 給食施設整備工事 (3校同時)
調理方式	自校方式

給食は令和4年9月からの開始を目指します。(守山南中学校は令和3年9月からの開始予定)

1 (継続) 小学校少人数学級対応事業

31,953千円
(一般財源31,953千円)

学校教育課

小学校1～3年の3年間は、基本的な生活習慣、学習習慣を身につける大切な時期であることから、32人を上限とする学級編制を導入し、一人ひとりに寄り添い、きめ細やかな指導を進めていきます。

2 (継続) 中学生海外派遣事業

2,393千円
(一般財源2,393千円)

学校教育課

市内の中学生を姉妹都市ミシガン州レナウイ郡エイドリアン市に派遣し、現地の中学校やホームステイ先の家庭生活体験の中で、学習や交流を深め、国際的視野を持った中学生を育成するとともに、エイドリアン市との友好と親善の輪を広げます。

3 (継続) 新生児聴覚検査事業

3,082千円
(一般財源3,082千円)

すこやか生活課

出生後の新生児聴覚検査に要する費用の一部を助成し、受診率を向上させることで、聴覚障害の早期発見および支援を図ります。

4 (継続) ことばの教室運営事業 15,785千円 発達支援課 (一般財源15,785千円)

発音やコミュニケーションに課題のある子ども（主には5歳児）とその保護者に対して、きめ細やかで寄り添った言語指導や相談を行います。

5 (継続) 放課後児童健全育成事業 137,867千円 こども政策課 (一般財源51,064千円)

児童の健全育成とともに子育て家庭の生活の安定を図るため、放課後児童クラブの運営に係る指定管理や委託を行い、遊び場および生活の場を引き続き提供します。

6 (継続) 妊婦健康診査事業 68,198千円 すこやか生活課 (一般財源68,198千円)

妊婦が安心して出産できるよう、妊婦健康診査に要する費用の一部を助成し、健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。

高齢者支援の充実

予算 182,071千円
(県:154,251千円)

①【新】介護職員就職支援事業補助金 2,500千円

介護施設における**職員不足の解消**に向けて、新たな支援事業を開始します。

対象者：新たに市内の入所系介護施設に就職する有資格者
(但し、35時間以上/週勤務する者)

補助金額：対象資格に応じて以下のとおり、補助額が異なります。

対象資格	補助額
介護福祉士、社会福祉士	20万円（県外からの転入を伴う場合は30万円）
実務者研修修了者	10万円
初任者研修修了者	5万円



②地域密着型サービス事業所の整備推進 154,251千円

高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活ができるよう、小規模特別養護老人ホームの整備を実施する事業者に対して、補助金を交付します。

入所定員：29名

開設時期：令和3年4月予定

③もーりーカー運行支援事業 12,488千円

路線バスを補完し、高齢者・障がい者などの交通弱者が市内の公共施設等（特定目的地）まで移動できる手段として、デマンド乗合タクシーを運行しています。



④高齢者おでかけバス推進事業 2,752千円

65歳以上の方（市内在住）を対象に市内を走る路線バスが月2,000円で乗り放題となる乗車券（パス）を販売し、移動の促進による健康づくりや生きがいに引き続き取り組みます。

⑤【新】中部地区地域包括支援センターの開設 10,080千円

地域包括支援センターの機能強化方針に基づき、北部地区および南部地区地域包括支援センターの開設に続き、吉身・玉津学区を対象とした市内3か所目となる中部地区地域包括支援センターを令和3年度に開設します。

①②介護保険課 担当 田中 連絡先 077-582-1127

③④地域振興・交通政策課 担当 榊 連絡先 077-582-1165

⑤地域包括支援センター 担当 上本 連絡先 077-581-0330

障害者支援の充実

予算 3,173千円
(県:2,173千円)

障害福祉施設における職員不足の解消、ならびに障害のある児童の保護者負担の軽減に向けて、新たに2つの支援事業を開始します。

①【新】障害者入所施設職員就職支援補助金

障害福祉施設における職員不足の解消

対象者：新たに市内の障害者入所施設（短期入所含む）へ就職する者（但し、35時間以上/週勤務する者）
補助金額：対象資格に応じて以下のとおり、補助額が異なります。

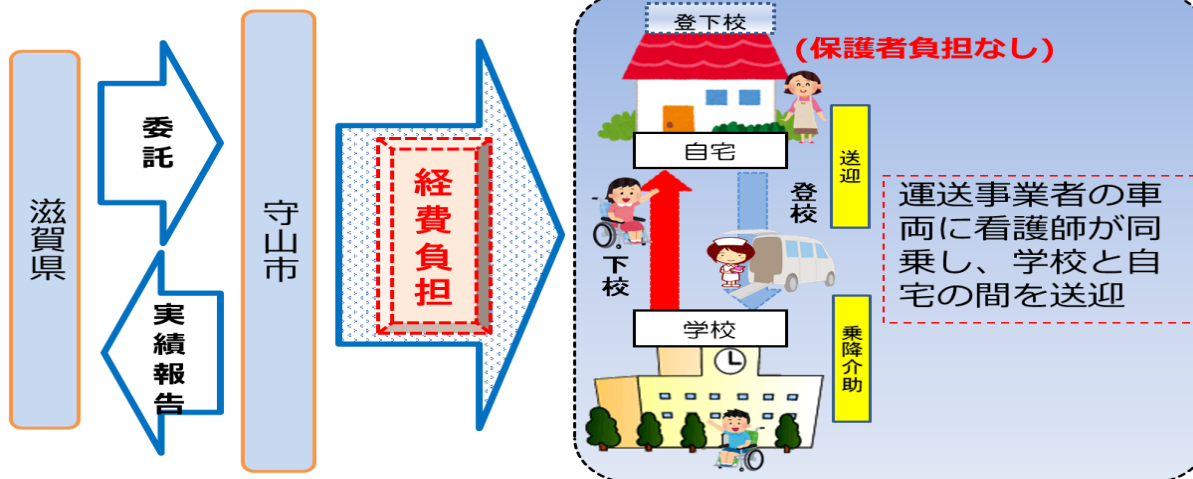


対象資格	補助額
介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士	20万円（県外からの転入を伴う場合は30万円）
社会福祉主事任用資格取得者	5万円
実務経験3年以上	10万円

②【新】医療的ケア児通学保護者支援事業（※県委託事業）

医療的ケア児の保護者負担の軽減

対象者：通学途中で医療的ケアを必要とする県立特別支援学校児童生徒の保護者
支援対象経費：学校までの移動および介助する看護師に要する経費の全額（但し、年間10回/人まで）
※保護者の経費負担はありません。



生活困窮者自立支援事業

地域共生社会の実現と社会的弱者等の社会参加の促進

予算 26,407千円
(国:17,105千円)

生活保護に至っていない生活困窮者に対するセーフティネットとして、生活困窮者の多様で複合的な課題に対し、各事業や施策を組み合わせ、本人の状態に応じた自立を支援します。また、住民に身近な圏域において、地域の様々な関係者が連携して包括的な地域ネットワークを構築し、「支える・支えられる」という一方的な関係ではなく、相互に支えあう「地域共生社会」を目指します。



柱② 高齢者・障害者等が安心して生活できる環境づくり

- | | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1 (継続) もりやま障害福祉プラン2021策定事業 | 3,243千円
(一般財源3,243千円) | 障害福祉課 |
| <p>現行のもりやま障害福祉プラン2018が、令和2年度に終期を迎えることから、今後の障害者（児）支援施策を定めるため次期計画の策定を行います。</p> | | |
| 2 (継続) 守山いきいきプラン2021策定事業
(介護会計)
(第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画) | 2,750千円
(一般財源2,750千円) | 介護保険課・長寿政策課
地域包括支援センター |
| <p>現行の守山いきいきプラン2018が、令和2年度に終期を迎えることから、今後の支援施策を定めるため、第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画（令和3年度～令和5年度）の策定を行います。</p> | | |
| 3 (継続) 地域展開型介護予防教室事業 | 3,489千円
(一般財源264千円) | 地域包括支援センター |
| <p>守山健康のび体操や百歳体操等の介護予防教室を地域で展開することにより、地域における通いの場づくりと生活機能の改善を図ります。</p> | | |

4 (新規) 骨髄ドナー助成事業 **140千円**
(一般財源70千円) **すこやか生活課**

ドナー登録者が骨髄等を提供する機会を確保するため、骨髄等の提供者に休業補償として助成金を交付し、骨髄等の移植およびドナー登録の推進を図ります。

5 (新規) 市民病院本館一部改修事業 (病院事業) **104,700千円**
(一般財源0千円) **地域医療政策室**

リハビリテーションセンターを有する新館 (令和2年4月オープン予定) に引き続き、エレベーター棟を含む本館の一部改修を行い、地域医療の拠点施設としての機能をより一層高めます。

6 (継続) 特定健康診査受診率向上事業(国保会計) **4,158千円**
(一般財源0千円) **すこやか生活課**

国民健康保険被保険者向けに実施している特定健康診査の受診を促すため、対象者の特性に合わせた効果的な個別勧奨を行い、さらなる受診率の向上を目指します。

地域の活性化を推進

予算 14,686千円
(国:6,243千円)

守山市まち・ひと・しごと総合戦略における『自転車を軸とした観光振興』と『起業創業の推進支援』に積極的に取り組み、地域の活性化の推進を図ります。

1 自転車を軸とした観光振興 予算額 12,486千円

① ナショナルルート認定を記念した守山市発着のビワイチイベントの開催

※JR西日本と連携したサイクルトレインの実施を検討するほか、県や他自治体、民間企業らと連携により、国内外に魅力を発信します。

② 市内観光・宿泊施設らと連携したインバウンド誘客促進および受入環境づくり

③ ICTを活用し、他のナショナルサイクルルートやサイクリングルートと連携した広域でのスタンプラリーの実施



④ 琵琶湖らしいコンテンツを活かした漁船タクシー運航事業



⑤ 「ビワイチの発着地」情報の発信に向けたビワイチマップの増刷

⑥ 『びわ湖守山・自転車新文化推進協議会』と連携した「モリイチスタンプラリー」の開催

2 起業、創業の支援事業 予算額 2,200千円

これまで取り組んできた商工会議所、市内金融機関による取組と連携しつつ、さらに市民に近い、民営コワーキングスペース等と連携した起業支援の取組により、地域の起業に向けた機運の醸成と、起業家間のネットワークづくりによる「起業家の集まるまち、守山」を推進。

◆ (新) 起業創業推進事業

- 市内コワーキングスペース等の民営4拠点と連携した市を挙げた起業相談体制の確立
- 起業家間、起業家支援側のネットワーク強化の推進
- 若者や女性等の起業家予備軍の掘り起こし



東京オリンピック・パラリンピック関連事業 (トルコホストタウン交流事業)

予算 10,066千円



東京オリンピック・パラリンピックの聖火リレーならびにホストタウンとして、トルコ共和国のゴールボールと視覚障害者柔道代表選手の大会事前合宿および交流の取組とともに積極的な応援・機運醸成を図り、スポーツを通じた共生社会の実現を目指します。

①【聖火リレーの実施】

- 5月28日
- 琵琶湖大橋～琵琶湖サイクリストの聖地碑（約4km）

②【大会事前合宿の受入】 8月上旬（15日間）

- ゴールボール男子10人、女子10人
- 視覚障害者柔道7～8人

③【共生社会ホストタウン交流事業の推進】

市内小中学校の授業でトルコ代表選手や日本のパラリンピアンとの交流、ユニバーサルスポーツ体験などを通じて応援機運の醸成と共に交流を契機とした共生社会の実現に向けた取組の推進を図ります。（日本トルコ文化協会や市障害者スポーツ協会と連携）

④【応援・機運醸成の取組】

- パラリンピック：8月25日～9月6日
- 市民公募を含む応援使節団を結成し、パラリンピック大会会場に派遣します。
 - 市内商業施設や企業と連携を図るなか応援の取組（パブリックビューイング等）を実施します。



モリヤマメロン活性化プロジェクト

予算 2,448千円
(他:385千円)

本市の特産品であるモリヤマメロンの新規就農者を確保し、農業生産額の向上および栽培面積の拡大を図るため、JAおうみ富士と連携し、農業大学校や専門学校等へのPR活動および就農マッチングフェアでブース出展を行い新規就農者を獲得します。

<予算額> 792千円

<事業内容>

◆マイナビ就農FEST（大阪）、新・農業人フェア（大阪）へのブース出展

◆農業大学校、タキイ研究農場附属園芸専門学校等へPR

<予算内容> パネル・ポスター作製費、就農ブース出展料等



【モリヤマメロン新規就農者育成支援事業】 予算額 1,656千円
(平成25年度からの継続事業)

本市の特産品であるモリヤマメロンのブランド力の維持発展を図るため、新たにモリヤマメロンの生産を行う農業者を支援します。

<主な事業内容>

メロンの生産に要する経費に対し、

3年間で最大150万円の補助金を交付します。



伊勢遺跡保存整備事業

予算 159,833千円
(国:102,168千円、債:41,700千円)

我が国の形成過程を考える上で、重要な遺跡である国史跡 伊勢遺跡を現地で体感できるよう整備を行います。令和2年度は第1次整備の整備工事に着手するとともに、土地開発公社で先行取得した整備用地の買戻しを行います。

整備計画 第1次整備

整備面積 約11,000㎡

事業期間 平成30年度(2018)～
令和4年度(2022)

- ・H30 基本設計
- ・R1 造成工事の実施設計
- ・R2～4 建築物の実施設計
整備工事

令和2年度の主な事業費

- ・用地購入費 95,730千円
- ・建築物の実施設計費 30,200千円
- ・造成等工事費 31,000千円



伊勢遺跡整備事業イメージパース図

柱③ 活力ある持続可能なまちづくり

- 1 (継続) 守山まるごと活性化推進事業 2,540千円 地域振興・交通政策課
(一般財源2,540千円)

歴史資源、自然資源等を活用し、愛着と誇りを持てる地域を創生するための各学区ごとの「守山まるごと活性化プラン」に基づき、各学区ごとの具体的な取り組みの展開を支援します。

- 2 (拡充) 「わ」で輝く自治会応援報償事業 18,000千円 市民協働課
(一般財源18,000千円)

地域の特性を活かしたまちづくり等を推進するため、自治会からのニーズ等を踏まえ、令和元年度に見直した自治会応援報償事業により自治会活動を支援します。

- 3 (拡充) 中小企業への支援事業 1,042千円 商工観光課
(一般財源1,042千円)

「守山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、中小企業への支援として、新たに新商品や技術開発費用の一部を助成することで、新たな需要を生み出し、売上げ増加につながるよう支援します。また、市内企業の課題解決へのアプローチ支援として、IoT・ロボティクス技術プラットフォームを運用し、市内企業の持続的発展、地域経済活性化を図ります。

4 (継続) 環境学習都市推進事業 717千円 (一般財源717千円) 環境政策課

環境学習都市宣言の具現化を図るため、環境フォーラムや自治会、学校等への訪問環境学習また、令和3年度に供用開始を予定している環境学習都市宣言記念公園交流拠点施設で実施する環境学習を充実した内容とするため、関係団体で構成した委員会で協議を行います。

5 (継続) ルシオールアース&アートフェスティバル事業 7,000千円 (一般財源7,000千円) 文化・スポーツ課

ルシオールアース&アートフェスティバル事業を、令和2年5月17日(日)に開催します。令和2年度は、オーケストラコンサートおよび0歳児からのコンサートを各2公演とするなど、一流の音楽や芸術に触れてもらう機会を提供することで、文化芸術によるまちづくりを推進します。

6 (継続) 図書館機能充実事業 28,144千円 (一般財源11,086千円) 図書館

図書館において、利用者がいつでも気軽に利用できる体制を整え、多様で新鮮な図書や資料を取りそろえ、図書館サービスのより一層の充実に努めます。

防犯・防災対策活動の推進

予算 6,423千円

犯罪抑止力の向上および防災意識の高揚と自助・共助の推進を図るため、次の事業に取り組みます。



- ①自治会防犯カメラ購入・設置補助金 1,000千円**
自治会で設置される防犯カメラの購入・設置費用の 1/2 を補助（上限：新設柱12万円、既設柱10万円）します。



- ②ドライブレコーダー購入・設置補助金 1,000千円**
65歳以上の市民で、新たにドライブレコーダーを購入し、自身が所有する車両に設置する費用の 1/2 を補助（上限1万円）し、地域の見回りの一助とします。

- ③防災マップ（ハザードマップ）の更新および全戸配布 3,523千円**
災害に備え、住んでいるところの災害リスクを把握することにより、日頃からの備えと防災意識の高揚を図るべく、防災マップを更新し、全戸配布します。

- ④地区防災計画策定支援事業（モデル地区） 900千円**
学区などの地域における共助のための共通ルール（地区防災計画）を作成される地区に対して、その計画策定を支援をします。

公共施設の老朽化対策事業

予算 444,552千円
 (国:30,637千円、債:263,400千円)

新庁舎整備事業

令和5年度の新庁舎完成を目指し、設計および施工者選定のための発注準備を行います。

【事業概要】デザインビルド発注支援業務

【事業費】39,867千円

施設整備室 担当 松井、姫野 連絡先 077-584-5926

市営住宅久保団地改修事業（第2期）

建設後45年以上が経過する市営住宅久保団地について、安全・安心な住環境を提供するため、計画的に改修工事を実施します。

【事業概要】住戸内の改修工事（3号棟）、既存受水槽の撤去

【事業費】87,298千円

建築課 担当 石田、灘野 連絡先 077-582-1139

洲本配水場耐震化事業（令和元年度から3ヶ年）

守山市北部の広範囲に配水を行っている洲本配水場において地震発生時にも安心して水道水を届けるため耐震化工事を実施しています。

【事業概要】ポンプ棟、配水池（1500m³）

【事業費】317,387千円

施設工務課 担当 松浦、中嶋 連絡先 077-582-1128

通学路安全対策等の道路整備

3月補正を含む

予算 871,031千円

(国:400,618千円、債:220,000千円、他:185,938千円)

①大門野尻線整備事業

予算 734,791千円

3月補正を含む

J R 東海道本線を横断し、大津湖南幹線（守山市大門町）と下鈎千代線（栗東市野尻）を結ぶ重要な道路の整備を栗東市との共同事業で行います。

【整備計画】

令和元年度から6ヶ年 大門野尻線 J R アンダー部工事協定
総事業費 3,010,585千円



②通学路安全対策事業

予算 122,240千円

児童等が安全・安心に通学できる歩行空間を確保するため、道路の改良やグリーンベルトの設置を行います。

岡立入線道路改良工事、大門横江線道路改良工事、市内通学路にグリーンベルト設置

③交通安全施設整備事業

予算 14,000千円

ガードレールやカーブミラー、区画線（白線）などの交通安全施設の整備や修繕を行います。

整備にあたっては、学区や自治会、学校などと連携し、事故の未然防止に努めます。

- 1 (新規) 消防ポンプ自動車の更新 (玉津分団)** **26,973千円** **危機管理課**
(一般財源6,773千円)

平成12年度に購入した消防ポンプ自動車の更新を行い、安定した消防団活動の実施を図ります。

- 2 (継続) 防災対策推進事業** **18,408千円** **危機管理課**
(一般財源16,880千円)

自助、共助、公助の役割分担と相互連携のもと、災害に対する予防対策や初動体制等を整備し、資機材・物資の備蓄品を更新するとともに、防災マップの更新を行い、減災意識の向上を図ります。

- 3 (継続) 民間ブロック塀等改修事業補助金** **5,000千円** **建築課**
(一般財源2,975千円)

地震等の災害によるブロック塀等の倒壊被害の防止を目的として、道路等に面するブロック塀等の撤去や改修をする方に補助を実施します。

4 (新規) 住生活基本計画等策定事業

3,531千円
(一般財源3,531千円)

建築課
他関係課

住宅セーフティネット法の改正や空き家特措法の制定など、近年の住宅施策の動向を踏まえ、令和2年度から令和3年度の2カ年で住生活基本計画等の住宅関連計画を策定し、安全・安心で豊かな住生活の実現に向けた施策の推進を図ります。【R3年度債務負担行為：6,700千円】

5 (継続) 下水道不明水対策事業 (農集特会)

9,300千円
(一般財源9,300千円)

施設工務課

小浜・新庄服部地区において、公共下水道への切替前に、浸入水箇所の特定のため、カメラ調査を実施し、適切な修繕を行うことで不明水の削減に繋がります。